

〒300-1152 阿見町荒川本郷 1338-15 C-2
tel&fax:895-0340 携帯: 090-1548-5294

あなたの未来がふくらむまち

海野隆議会



報告

sougousenryaku@gmail.com

海野 阿見で検索

最新情報はブログで

VOL2-11

平成30年12月議会

阿見町12月議会は4日に開会し、一般質問、各常任委員会審査を行い、18日の最終日に全議案を可決して閉会しました。私は全議案に賛成しました。

今定例議会に上程された議案は議案98号から112号までの15件です。内容は、専決処分2件、条例の一部改正が5件、一般会計補正予算、特別会計補正予算5件、水道事業会計補正予算、教育委員の同意でした。

●可決された議案

○専決処分

- 1) 一般会計補正予算（霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員補欠選挙のために77万8千円を支出、全額県支出金。）
- 2) 損害賠償（町有地の樹木が台風24号の風雨により倒木、民家の木戸等を破損させたもの25万円9200円。）

○条例の一部改正

- 1) 阿見町介護保険条例、後期高齢者医療に関する条例、国民健康保険税条例（主にこれまでの4月開始6期納期を7月開始8期にして暫定賦課を廃止するもの。）
- 2) 医療福祉費支給に関する条例（平成31年4月より県が精神障害者保健福祉手帳1級の所持者を対象に加える予定で、町の条例も改正するもの。）
- 3) 権利の放棄に関する条例（東日本大震災により二重債務を抱える中小企業の再生を促進するため損失補償契約に基づく回収納付金を受け取る権利を放棄するもの。）

○一般会計補正予算（4号）

- 1) 歳出では、職員給与関係経費の確定、会計年度任用職員制度導入支援業務委託料54万円（2017年、地方公務員法と地方自治法が改定され、2020年4月から自治体の非正規職員に「会計年度任用職員」が導入されることになりました。定員管理で正規職員が減少する中で、非常勤職

員が地方行政の重要な担い手になっています。その方々を、同一労働同一賃金、期末手当を支払えるようにすることで処遇することになりました。ただし、自治体の人件費は増加が予想されます。)、国民健康保険特別会計等への繰出金、新規就農者支援事業150万円、学校施設整備事業2億6886万円（エアコンの整備その他）、予科練平和記念館整備管理基金費1133万円などです。

○特別会計

- 1) 国民健康保険（第3号）、医療給付費810万円
- 2) 公共下水道事業（第3号）、工事請負費等630万円
- 3) 農業集落排水事業（第3号）、小池地区農集廃棄物等処分委託料50万円
- 4) 介護保険（第2号）、居宅介護サービス計画給付500万円、国庫支出金返還1767万円
- 5) 後期高齢者医療（第2号）、広域連合への納付金1761万円

○水道事業会計（第2号）

- 1) 修繕費150万円、工事請負費1100万円

○人事案件

- 1) 教育委員の任命同意（教育委員の任期満了に伴い元阿見中学校長立原秀一氏を新たに任命。議会では全会一致で同意しました。）

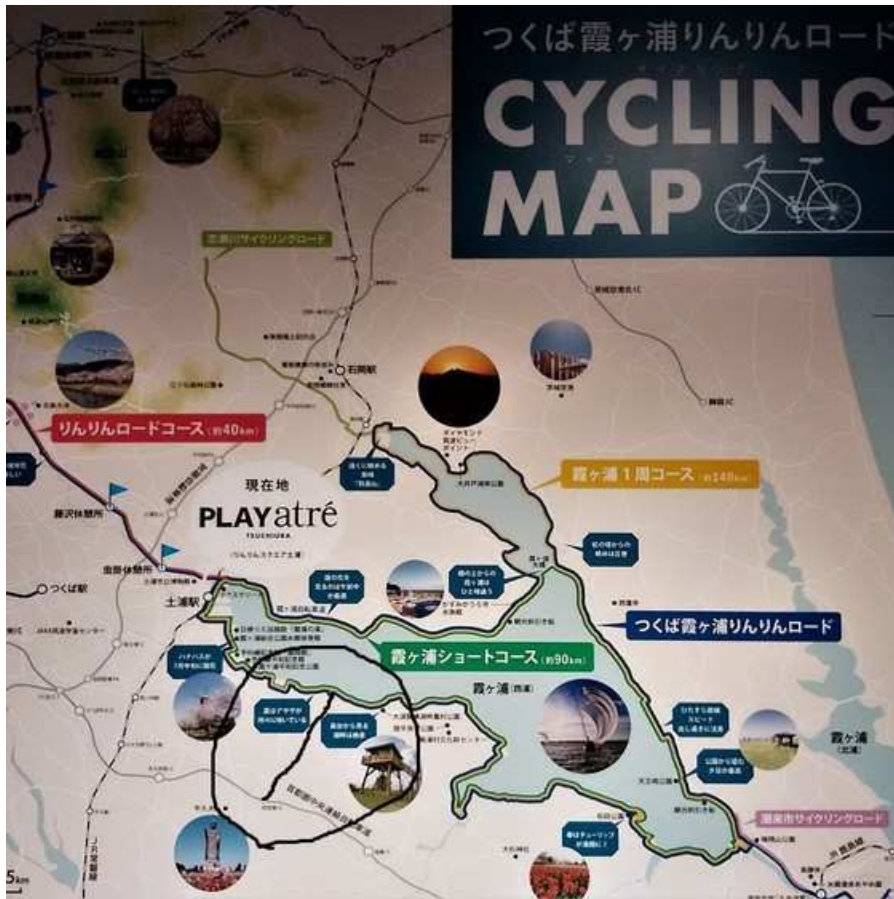
阿見町今年の主なニュース(ブログ編)

今年もいろいろなことがありました



海野隆の一般質問

サイクリングロードの延伸を提言する



丸囲みの中の道路が提言している延伸ロード

茨城県は、筑波山麓から旧筑波鉄道の廃線敷きを通して霞ヶ浦を一周する総延長約180キロメートルのサイクリングロード「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を整備しています。阿見町内の予科練平和記念館にはレンタサイクルステーションが整備されており、19か所のコンビニ等にサポートステーションが登録されています。



町内の一部には自衛隊の施設があり迂回を余儀なくされていますが、県議会で土浦市選出の安藤真理子議員が、安全上や魅力度などを考慮し霞ヶ浦湖上に歩行者・自転車専用道路整備をしたらどうかと大胆で斬新な提言をしています。

阿見町の長年の課題は、アウトレットに来場する年間330万人の観光客を町内に回遊させ、本当の意味での交流人口として町の活性化を図ることです。こうしたポテンシャルのある阿見吉原地区から、霞ヶ浦沿岸を通る「つくば霞ヶ浦りんりんロード」まで、サイクリングロードを延伸することができれば、観光客の町内回遊を飛躍的に増加させる可能性があります。さらに、龍ヶ崎市、取手競輪がある取手市への延伸が出来れば、利根川沿岸を千葉県の銚子市、利根川源流の群馬県みなかみ町までを見通すことが出来ます。

以上のような提案をしました。執行部の答弁は、「町の観光振興基本計画で、インターチェンジ周辺にサイクリスト向けの拠点整備を図ること、とあるので県と連携しながら、霞ヶ浦沿岸におけるサイクリングを活かした観光交流を推進するための施設とサービスの充実を図りたい」というものでした。

執行部との質疑は以下の通りです

海野隆: 町の長年の課題は、アウトレットに来場する年間330万人の観光客を町内に回遊させ、本当の意味での交流人口とすることだった。圏央道茨城県内区間は2024年までに4車線での全面供用となる予定である。こうしたポテンシャルのある阿見吉原地区から、霞ヶ浦沿岸を通るつくば霞ヶ浦りんりんロードまで、サイクリングロードを延伸することができれば、観光客の町内回遊を飛躍的に増加させる可能性がある。

千葉町長: 町でも観光振興基本計画で、インターチェンジ周辺にサイクリスト向けの拠点整備を図ること、さらに、観光拠点からの自転車による町内周遊を促進するため、アウトレット、予科練平和記念館等へのレンタサイクル施設導入を図ることが示されている。

海野隆: アウトレットにおける施設は、土浦駅にあるような整備イメージか

産業建設部長: りんりんスクエア土浦のような施設が出来れば良いと考えている。アウトレットには、予科練平和記念館にあるような貸出しのできる施設でも出来ないかと働きかけをした。しかし、会社の方針等もありそこまでは行っていない。阿見吉原地区で可能な限りそうした場所があればぜひ整備していきたいと考えている。



海野隆: 阿見町も大胆な発想を持つことが必要だ。阿見吉原地区から霞ヶ浦に向かう道路は4車線で計画された千葉茨城道路の一部だ。南下すれば龍ヶ崎市、千葉県へと通じている。阿見東インターチェンジは、東名高速道、中央道、関越道、東北道、常磐道、東関東道に連結し、房総館山まで行く。「つくば霞ヶ浦りんりんロード」と連結した延伸ロードをぜひとも茨城県に提言すべきだと思うがどうか。

産業建設部長: 観光は、単体の自治体で進められるものではないことは充分承知している。近隣市町村、それ以外の広域的な部分で観光は成り立って行く。そういった観点で、広域的な中でサイクリングの振興をするためにどうするか、茨城県にも話して行こうと考えている。

今後も、県や周辺市町村を巻き込みながら、阿見町をデザインするような大胆で斬新な夢のある政策提言を行って行きます。



阿見町議会報告会
次回の予定は5月12日(日)

無料法律・生活相談

●地域や家庭での日常生活上の問題や法律に関わる問題などに遭遇して解決できずに悩んでいる方の相談に応じます。弁護士による相談は予約が必要です。

予約は、090-1548-5294